

プレスリリース

ヘキサメチレンジアミン(HMD)の生産終了に関するお知らせ

2025年12月5日

旭化成株式会社

旭化成株式会社(本社:東京都千代田区、社長:工藤 幸四郎、以下「当社」)は、宮城県延岡市におけるヘキサメチレンジアミン(HMD)^{※1}およびその副生成品であるプロピオニトリル(PN)^{※2}の生産終了を決定したことをお知らせします。

1. 背景と経緯

当社は、延岡地区のHMDプラントにおいて1971年に商業運転を開始し50年超にわたり、主にポリアミド66とヘキサメチレンジイソシアネート(HDI)向けの主原料の生産および一部販売を行ってきました。しかし、近年、経済環境の低迷が長期化する中、原料および用役コストの上昇による競争力の低下に加え、川下製品の需給環境の悪化により、当該製品の稼働率は低水準で推移しており、厳しい状況が続いています。こうした状況は構造的かつ不可逆的であると判断し、当該製造工程からの撤収を決断しました。

2. 生産終了に伴う今後の供給体制について

(1) 生産終了する製品について

対象製品 : ヘキサメチレンジアミン(HMD)、プロピオニトリル(PN)

生産終了時期 : 2027年4月(予定)

(2) 川下製品の今後の供給について

当社は、HMDを主原料とするポリアミド66(樹脂及び繊維:宮城県延岡市)、ヘキサメチレンジイソシアネート(HDIおよびHDI誘導品:宮城県日向市)を手掛けています。本製品については、引き続き生産・販売を行ってまいります。

(3) 当該製品群の事業に携わる従業員

当該従業員は当社内で再配置することを予定しています。

3. 業績に与える影響

本件は、すでに公表済みの2026年3月期連結業績予想に織り込み済です。なお、その影響額は軽微です。

※1、※2

各製品の主な用途

ヘキサメチレンジアミン(HMD):ポリアミド66、ヘキサメチレンジイソシアネート

プロピオニトリル(PN):樹脂硬化剤

(ご参考)当社グループの事業ポートフォリオ変革について

当社は『中期経営計画2027 ～Trailblaze Together～』のもと、資本効率の改善と投資成果創出による利益成長を目指しています。この方針に基づき、ベストオーナー視点での改革や他社連携も含めた事業構造転換と経営資源の再配分を進めています。さらに、成長分野と位置づけた事業へのさらなる投資を通じて、企業価値の向上を図ってまいります。

AsahiKASEI

事業ポートフォリオ変革の進捗状況

■ヘルスケア ■住宅 ■マテリアル

事業構造転換

成長投資

前中期経営計画2024 ～Be a Trailblazer～

2022
年度

■ペリクルの事業譲渡

■バイオ医薬品CDMOの米国Bionova買収および事業基盤拡大

■半導体保護膜／層間絶縁膜パイメルの生産能力増強

2023
年度

■セパセルの構造転換

■ALC岩国工場閉鎖

■スパンボンド共同事業会社設立

■旭化成パックスの事業譲渡

■米国ネバダ州の建設サプライヤーFocus買収

■車載LIB用セパレータの拡大
(北米一貫工場、米国・日本での塗工設備増強)

2024
年度

■血液浄化事業譲渡

■診断薬事業譲渡

■タイのアクリロニトリル等の事業撤退

■スウェーデン製薬企業Calliditas買収

■米国フロリダ州の建築工事を請負うサブコントラクターODC買収

■車載LIB用セパレータの拡大
(北米一貫工場、米国・日本での塗工設備増強)

現中期経営計画2027 ～Trailblaze Together～

2025
年度

■メタクリル酸メチル（MMA）モノマー等の事業撤退

■国内エチレン製造設備関係における三菱ケミカル、三井化学との
3社連携推進

■ウイルス除去フィルタープラナの生産能力増強

■半導体保護膜／層間絶縁膜パイメルの生産能力増強

■グリーン水素製造用アルカリ水電解システムの生産能力拡大

以上



ニュース一覧へ